

大牟田日本フィルの会事務局
コーヒーサロンはら 店主

上野 由幾恵 さん



これからも大牟田の
音楽文化を支えたい

23歳の時に栄町で喫茶店をオープン。幼少の頃からクラシック音楽に慣れ親しんでいたため、店内も音楽が楽しめるようにと、当時からよく演奏会を開いていました。開業して18年後に火災で全焼となり、店を畳もうとしましたが、常連の皆さんが代わりの店舗を探してくださり、半年後に現在の場所です。再出発となりました。本当にありがたかったです。

その常連さんの中に、日本フィルの演奏者の方がいて、「大牟田で日本フィルの公演をやりたい。お世話をしてほしい」とお願いされました。ちょうど大牟田文化会館が開館する時であり、そのオープニングを日本フィルの演奏が飾りました。大牟田での初公演は大盛況となり、その後正式に「大牟田日本フィルの会」を設立し、以



こだわりのコーヒーと音楽が、多くの人の心を癒してくれました

来、毎年公演会を開いています。九州公演のひとつであり、他市と調整を図りながら、指揮者や奏者、曲目などを決定するなど準備に約半年かかります。長年、店との両立で頑張ってきましたが、年齢的にも限界を感じ、数年前から会を辞めようと思っていたところ、「大牟田に根付いた音楽文化を絶やしたくない」と、昨年から若いスタッフが多数参加してくれるようになり、会の存続に明るい兆しがみえてきました。

若い方が賛同してくれるなんて夢にも思っていなかったので、本当にうれしいです。会の代表は退きますが、当面は後方から支えていければと思っています。店も閉じることになりましたが、この場で演奏された多くの方やお客さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

押し花文化 のふるさと・おおむた

作品名
碧に魅せられて
作者
山田ルイ子

夏、溪谷巡りで五家荘を旅していたとき、ふと目に留まったヤマアジサイ。水しぶきをあげる沢の岩場にも静かにたたずむ碧色の花。奥ゆかしく、けれどじんわりと心を惹き寄せます。この押花絵を見ると碧の美しさと旅の思い出がよみがえります。



大牟田押花の会

編集後記

▼「令和」の始まりにあわせて、新たな生活を始められた方もいらっしゃるかと思います。私も4月から新しい職場で新しい仕事をスタートさせました▼異動はこの職の宿命とも醍醐味とも言えますが、

新しい出会いは刺激になり、私は好きです。ただ、周りのスピードについていけず未だにオロオロ▼しつかり地に足をつけて毎日を生きていきたいと思えます。これからよろしくお祈りします(あ)